

令和4年度海南市立異中学校スクールプラン

海南市学校教育基本方針

- 1 確かな学力を育成する
- 2 豊かな心や感性を育む
- 3 健康でたくましい心と体を育てる
- 4 社会の一員としての自覚を育てる
- 5 教育における重要課題の解決に取り組む
- 6 学校運営を改善・充実させ、教室での資質・能力を高める

保護者・地域の願い

- 知徳体のバランスの取れた生徒に育てる。
- 幼小中の連携を充実させる。
- 生活環境を整える。
- 地域との交流を深める。

【学校教育目標】

生きる力を培う
～「夢の実現」に向け 一歩前に～

【めざす生徒像】

- 基本的な生活習慣を確立できる生徒
- 学習したことを活用し粘り強く思考する生徒
- 根気強く学習に向かう生徒 ○挑戦し続けられる生徒
- 自分達で課題を解決できる生徒
- 自己肯定感が高く他人を認めることができる生徒

令和3年度の学校評価（自己評価）

- 総じて肯定的な評価をしている。
- 満足度3.1（満点4）
- ※令和2年度3.1、令和元年度3.2

生徒の実態

- 全体的に落ち着いている。
- 基礎学力が身に付いている生徒が多い。
- 読書好きが多い。
- 主体性や協調性のある生徒が多い。
- 克己心を身に付けてほしい。
- 活用する力や思考力を伸ばしたい。

重点目標

【学習に向かう性根】

- ◎基礎学力の定着
- ◎自発的に学習する姿勢の確立
- ◎ICT教育の充実

【自己肯定感と互いを認めあう集団作り】

- ◎道徳教育の充実
- ◎特別支援教育の充実
- ◎読書活動の推進
- ◎体験活動の推進

【健やかな体づくり】

- ◎自主・自律力の育成
- ◎体力の向上
- ◎部活動の活性

【幼小中・家庭・地域との連携】

- ◎連携の強化
- ◎情報発信の充実
（保護者や地域の視点を重視）

具体的な取組

- 異スタイル・56音を実践する。
- 必要なもの機に出して準備してから休憩しよう
しっかり聞いて意見を述べる
立って発言はっきり返事
- めあてを掲示する。
- 指導方法の工夫や改善を行う。
- 思考力を問う設問を定期考査に取り入れる。
- 教科の小テストを実施する。
- タブレットを利活用する。

- 道徳の授業を全教職員で取り組む。
- 支援学級の授業を活性化する。
- 全員読書を実施する。
- ビブリオバトルを開催する。
- 学級の係や生徒会の委員会活動を活性化する。
- Q U やいじめアンケートを定期的実施する。

- 基本的な生活習慣を確立させる。
- 「挨拶」や「返事」等をマナーを重視した指導を行う。
- 球技大会の実施等、運動をする機会を増やす。
- 自主的・自発的な部活動の運営を行う。
- 駅伝練習を充実させる。
- PDCAサイクルを意識した部活動を行う。
- 健康観察カードによる健康チェックを行う。

- WITHコロナ時代の子どもどうし、教員どうしの交流を進める。
- 可能な限り授業参観やPTA活動等を行い、保護者との連携を深める。
- 学校運営協議会を運用する。
- 地域の行事に参加する。
- 学校便りやHPを充実させる。

指標

- ・めあての掲示率100%
- ・思考力を問う問題の正答率45%以上
- ・小テストの正答率80%以上

- ・道徳の公開授業一人1回以上
- ・図書の出借冊数、前年度以上
- ・保護者アンケート読書に関する項目、50%以上
- ・全員読書、春と秋の年2回
- ・生徒アンケート「学校生活は楽しい」90%以上

- ・体力テスト実施種目全国平均以上
- ・駅伝順位、前年度より上位
- ・保健室来室者数前年度以下

- ・保護者アンケート情報発信に関する項目、肯定的な意見90%以上
- ・学校運営協議会、年間3回以上
- ・地域との交流、年間3回以上
- ・学校便り配付、月1回以上
- ・HPの更新、月1回以上

◎：重点的に取り組むこと